

2025度 事業報告書

2025年4月1日～2026年3月31日



一般社団法人CSV開発機構

1. 法人概要	P 2
2. 年間活動一覽	P 5
3. 主要活動	P10
4. 受託事業	P15
5. 自主事業	P20
6. 広報業務	P22

1. 法人概要

一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造しているというCSVを事業化することを目的としています。

新たな価値観に基づく社会の創出や、生活者のQOLの向上を目指し、産官学民の連携による新しいビジネスモデルの構築とその事業化に向け、プラットフォームとなり、アライアンスパートナーの構築やオープンイノベーション推進など、総合的なご支援いたします。

役員（2025年6月1日現在）

理事長 水上 武彦

専務理事 小寺 徹

理事 岡庭 輝幸（株式会社インスパイア）

加藤 薫（ヤマハ発動機株式会社）

中村 弘子（株式会社ジェイティービー）

長谷部 直人（東京書籍株式会社）

事務局長 小寺 徹 *兼務

監事 藤中 隆一（株式会社乃村工藝社）

顧問 渋澤 寿一 ・ 赤池 学

会員（2025年6月1日現在）

（一般会員）

コドモエナジー株式会社

住友林業株式会社

株式会社DGコミュニケーションズ

株式会社富山

株式会社乃村工藝社

株式会社JTB

大和リース株式会社

東京書籍株式会社

ニチ八株式会社

ヤマハ発動機株式会社

（特別会員）

青森県庁

弘前市

静岡市

浜松市

名古屋市（東京事務所）

大阪府（公民戦略連携デスク）

千葉商科大学

大東文化大学経営研究所

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会

特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会

事業内容

- ① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
- ② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
- ③ CSVに関わる調査研究事業
- ④ CSVに関わるコンサルティング事業
- ⑤ CSVに関わる受託事業
- ⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
- ⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
- ⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
- ⑨ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
- ⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

2025年

04月	[機構運営]	設立記念日（2日）
	[機構運営]	第1回理事会（16日）＊オンライン
	[機構運営]	フューチャーラボ意見交換（18日）
	[機構運営]	人材育成プログラム作成意見交換（25日）
05月	[機構運営]	社員総会・理事会（21日）＊オンライン
	[機構運営]	第2回理事会（16日）＊オンライン
	[機構運営]	地域力創造意見交換（22日）
	[機構運営]	未来まちづくりフォーラム意見交換（29日）
	[機構運営]	心豊かな未来意見交換（30日）
06月	[官民連携]	埼玉県庁ネイチャーポジティブ意見交換（日）
	[機構運営]	新潟県内事業拡大（9日）
	[機構運営]	大学×CSV事業連携意見交換（10日）
	[機構運営]	人材育成プログラム作成意見交換（16日）
	[機構運営]	第3回臨時理事会（16日）＊オンライン

- 07月
- [官民連携] 新潟マイブランド化意見交換（1日）
 - [機構運営] 金融機関ネイチャーポジティブ意見交換（2日）
 - [機構運営] 生命保険会社ネイチャーポジティブ意見交換（3日）
 - [機構運営] CSV新事業創出意見交換（5日）
 - [機構運営] 陸上養殖意見交換（15日）
 - [機構運営] 赤十字大会（16日）
 - [機構運営] 矢祭町魅力発信Instagram取材（17日-21日）
 - [官民連携] 農泊事業意見交換（22日）
 - [機構運営] 第4回臨時理事会（16日）＊虎ノ門ヒルズインキュベーションセンター
 - [官民連携] 埼玉県庁ネイチャーポジティブセミナー（30日）＊ウエスタ川越
- 8月
- [官民連携] 豊島区意見交換（5日）
 - [官民連携] 林野庁森林ACTチャレンジ審査会（19日）
 - [官民連携] 山ノ内町視察（9日）
 - [官民連携] 出雲崎町過疎地域活性化（19日）
 - [官民連携] 千葉県庁観光戦略意見交換（20日）
 - [機構運営] インバウンド観光意見交換（21日）

2. 年間活動一覧

- [官民連携]** 矢祭町魅力発信事業（23日-24日） * 麻布十番
- [官民連携]** 津南町過疎地域活性化意見交換（25日）
- [官民連携]** 矢祭町魅力発信Instagram取材（29日）

- 9月 **[官民連携]** 魚沼市過疎地域活性化意見交換（2日）
- [機構運営]** 人材育成プログラム作成意見交換（3日）
- [官民連携]** 下條村活性化意見交換（11日）
- [官民連携]** 矢祭町魅力発信事業（14日） * 武蔵小山
- [官民連携]** 矢祭町魅力発信事業（17日-19日） * KITTE丸の内
- [機構運営]** 第5回臨時理事会（24日） * 乃村工藝社

- 10月 **[官民連携]** 矢祭ブランド会議（7日）
- [官民連携]** 埼玉県ネイチャーポジティブ交流会（21日） * 川越
- [官民連携]** 林野庁森林環境譲与税意見交換（22日）
- [官民連携]** 矢祭町魅力発信事業（25日-26日） * 中野
- [官民連携]** 矢祭ブランド会議（28日）

2. 年間活動一覧

- | | | |
|-----|---------------|-------------------------------|
| 11月 | [官民連携] | 埼玉県ネイチャーポジティブ交流会（21日） * 浦和 |
| | [官民連携] | 矢祭ブランド会議（18日） |
| | [機構運営] | 第6回理事会（19日） * オンライン |
| | [官民連携] | 埼玉県ネイチャーポジティブ交流会（28日） * 熊谷 |
| 12月 | [機構運営] | 東京科学大学情報交換（1日） |
| | [機構運営] | 千葉商科大学授業（5日） |
| | [官民連携] | 日高市ネイチャーポジティブ官民連携意見交換会（10日） |
| | [官民連携] | 入間市ネイチャーポジティブ官民連携意見交換会（12日） |
| | [官民連携] | 矢祭町魅力発信事業（16日-17日） * KITTE丸の内 |
| | [官民連携] | 矢祭ブランド会議（16日） |
| | [官民連携] | 飯能市ネイチャーポジティブ官民連携意見交換会（18日） |
| | [官民連携] | 新座市ネイチャーポジティブ官民連携意見交換会（19日） |
| 1月 | [官民連携] | 矢祭ブランド会議（10日） |
| | [官民連携] | 矢祭町魅力発信Instagram取材（19日-20日） |
| | [官民連携] | 矢祭ブランド会議（20日） |

2. 年間活動一覧

- 2月
- [機構運営] 事務所移転（2日）
 - [機構運営] 未来まちづくりフォーラム（2日）
 - [官民連携] 北本市ネイチャーポジティブ官民連携意見交換会（4日）
 - [官民連携] 所沢市ネイチャーポジティブ官民連携意見交換会（6日）
 - [官民連携] 埼玉県庁ネイチャーポジティブ分科会発表会（13日）
 - [機構運営] 理事会（18日）＊オンライン
 - [官民連携] 矢祭ブランド会議成果報告会（26日）
- 3月
- [官民連携] 矢祭町観光新パンフレット配布会（6日） ＊交通会館
 - [機構運営] 未来まちづくりフォーラム（12日） ＊SHIDAXホール
 - [官民連携] 新座市ネイチャーポジティブ意見交換会（17日）

3. 官民連携事業：埼玉県

事業名：埼玉県ネイチャーポジティブ推進分科会 事務局

期間：2025年5月～2026年3月

目的：

ネイチャーポジティブの実現に向けて、県内企業や行政、環境保全団体等の多様な主体の交流を促進し、官民連携・協働の取組を拡大する。

事業概要：

- ①ネイチャーポジティブに係る情報発信
 - ・シンポジウム
- ②県内企業、市町村、環境保全団体等の相互交流の機会の創出
 - ・市町村×企業×団体 交流会
川越市 / さいたま市 / 熊谷市
- ③県内企業のネイチャーポジティブに係る取組の促進と支援
 - ・事業化に向けた現地視察ならびに意見交換会
入間市 / 飯能市 / 新座市 / 草加市 / 北本市 / 所沢市

3. 官民連携事業：埼玉県

事業名：キックオフイベント

日時：2025年7月30日(水)

場所：ウエスタ川越

参加者：64団体・85名

内容：

①基調講演：

「ネイチャーポジティブに対する世界の動向 ～N Pの実現に向けた企業へのメッセージ～」
 環境省自然環境局 自然環境計画課 生物多様性主流化室：大澤 隆文様

②パネルディスカッション

「ネイチャーポジティブ経営が拓く新しいビジネスチャンス」
 環境省：生物多様性主流化室：大澤 隆文様
 日本生命保険相互会社：サステナビリティ経営推進部 環境経営推進担当部長 岩本 昌弘様
 株式会社埼玉りそな銀行：経営企画部 サステナビリティ推進室 鈴木 学様
 ファシリテーター：合同会社西埼玉暮らしの編集社 大竹 悠介様

③事例紹介：戸田市役所 環境経済部 みどり公園課：酒田 力弥様



3. 官民連携事業：埼玉県

事業名：交流会

日時・場所：

- ①2025年10月21日(火) 13:00～16:30 埼玉県川越地方庁舎
- ②2025年11月 7日(金) 13:00～16:30 埼玉佛会館
- ③2025年11月28日(金) 13:00～16:30 埼玉県熊谷地方庁舎

参加者・プレゼン自治体：

- ①14団体・22名：所沢市・飯能市・入間市・新座市・日高市
- ②19団体・29名：さいたま市・草加市・戸田市・白岡市
- ③20団体・31名：東松山市・羽生市・北本市・小川町

内容：各回共通

- ・ミニセミナー：
 - ネイチャーポジティブ経済への移行～ビジネスチャンスをもどのように見出すか～
 - CSV開発機構：上席研究員 近江 哲也
- ・市町村からフィールド・課題説明
- ・意見交換：市町村×参加団体



3. 官民連携事業：埼玉県

事業名：事業化に向けた現地視察&意見交換会

日時・場所・参加者：

- | | | |
|-----------------|-------------|-------------|
| ①2025年12月12日(金) | 13:00~17:00 | 入間市：7団体・9名 |
| ②2025年12月18日(木) | 13:00~17:30 | 飯能市：5団体・7名 |
| ③2025年12月19日(金) | 13:00~17:30 | 新座市：3団体・3名 |
| ④2025年12月22日(月) | 13:00~17:00 | 草加市：7団体・10名 |
| ⑤2026年 2月 4日(水) | 13:00~17:00 | 北本市：8団体・11名 |
| ⑥2026年 2月 6日(金) | 13:00~17:00 | 所沢市：2団体・2名 |



3. 官民連携事業：福島県矢祭町

事業名：矢祭ブランド会議による人財育成を通じた情報発信事業 * 復興庁福島再生加速化交付金

期間：2025年7月～2026年3月

目的：

福島県の本格的な復興・創生に向けては、今もなお続く風評を払拭することが重要である。風評の影響は地域によって様々であり、復興の進捗状況や情報発信体制にも差があることを踏まえ、市町村等が自らの創意工夫によって必要な取組を企画・実施することが重要であることから、町としても矢祭町の魅力を県内外に発信できる人財育成を行い、情報発信やイベント等を行う事で風評払拭を図る。

事業概要：

①矢祭ブランド会議：町民ワークショップ / 魅力発信できる人財育成

講師による指導のもと、地域の人と一緒に矢祭町の固有の価値や魅力を考え、言語化する事を目的として、町民向けのワークショップ（分科会・本会議）を実施し、町の魅力を発信できる人財を育成するとともに、これらの取組みについての情報発信を行なう事で風評被害の払拭を図る。

②矢祭町魅力発信：首都圏における農産物販売を通じた魅力発信

首都圏の商業施設等または主要駅（東京・新宿・品川・上野等）において矢祭町の農産物、加工品の販売プロモーションを実施する事で、福島産品の安心・安全をPRするとともに、町の知名度向上、魅力を都内に発信する事を目的とする。開催時に矢祭町農産物の魅力や生産者の想いを盛り込んだPRパンフレットの配布と消費者の理解を探るアンケート調査（200人対象）を実施する事で、風評被害の払拭を図る。

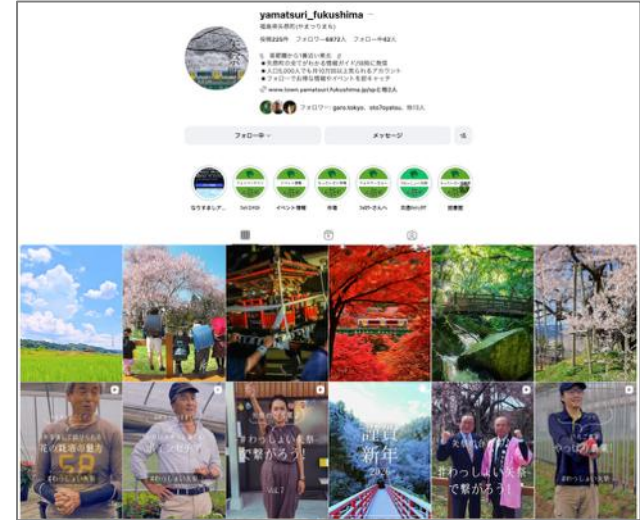
③SNSによる魅力発信

SNS等を活用した情報発信を行なう事で、矢祭町の魅力発信や知名度の向上と風評被害の払拭を図る。魅力発信の出来る人財育成により、2年後を目途に町民自らが定期的に情報を発信できる体制を整える準備と行う事。併せて将来的に「やまつりファンクラブ(仮称)」設立を念頭に、矢祭町のファンを増やすとともに、経済的な循環を生む仕組みを検討すること。

矢祭町Instagram施策状況

2025年4月1日～2026年3月31日

- ・合計投稿数 : 150 * 130本(仕様書)
- ・フォロワー数 : 7,645人 (目標の6,000人を突破)
- ・合計閲覧数 : 46.0万人
- ・「いいね!」「再投稿」など : 2.0万人と大きな反響を得ました。
- ・投稿の保存数 = 642件もあり多くの方が、保存しておきたいと思う内容であったことが伺えます。



<トピックス1>

- ・12月5日投稿のフォトコンテスト募集投稿は、2,416もの視聴があったにも関わらず、2分以上の動画の平均視聴が1分18秒と多くの方がじっくり動画を見ていました。(一般的な投稿は平均視聴は数秒程度)



<トピックス2>

- ・12月10日投稿のプレゼントキャンペーンでは、140人のフォロワーが増えました。
- ・プレゼントキャンペーンの応募投稿数は1,000以上で通常300程度と言われる中、プレゼント内容や数量、また6,000フォロワーのアカウントとしてはかなり多い応募と言えます。



<トピックス3>

- ・フォトコンテストの応募は、矢祭町だけと言うかなり範囲が狭い中での260件はかなり多いと言えます。
- ・他アカウントのフォトコン投稿数は
千葉県主催 51点 / 神奈川県主催 1,482点 / 箱根ジオパーク 536点 / 三溪園フォトコン 366点
鎌倉市観光協会 446点 / 座間市観光協会 395点

05 運用成果まとめ

◇人口規模に対してフォロワー数が多い

自治体SNSでは人口規模を基準としてフォロワー数が語られることが多く、人口規模が小さい自治体ほどフォロワー数が伸びにくい傾向にあります。

しかし本アカウントのフォロワー数は7,627人（2026.3.6現在）で、町の人口4,992人（2026.3.1現在）を上回っており、人口比で見ると非常に高いフォロワー獲得率となっています。

◇町外にファンを持つ地域PRメディアになっている

フォロワー数が人口より多いことにより、本アカウントは町外のユーザーからも関心を集めていることがうかがえ、地域の魅力発信媒体として広い層にリーチしている状況が確認できます。

町民への情報提供だけでなく、町外のユーザーにも矢祭町の魅力を届ける情報発信媒体として機能しており、観光・地域資源・人の魅力を伝える広報ツールとして、一定の成果を上げていると考えられます。

◇投稿1件あたりの閲覧数が高い

2024年度より投稿頻度は減らしたものの、1投稿あたりの閲覧数（ビュー）は昨年度より高い水準を維持しており、フォロワーだけでなく新規ユーザーにも投稿が届いている可能性が考えられます。投稿内容が地域の魅力や関心の高いテーマを的確に捉えていることを示していると考えられます。

◇地域のファンづくりにつながる情報発信

多くの自治体Instagramは、観光スポットの写真、風景、イベント告知が中心になりがちですが、本アカウントでは、地域で活動する人や生産者、学校、地域の店舗など、そこで暮らす人々や日常の話題を取り上げた投稿も多く発信し、町のさまざまな魅力を多角的に発信しました。

実際にコメント欄では、町の産業や人への共感、応援など温かい声が見られました。

こうした「人」にフォーカスした投稿は、フォロワーからの共感や応援のコメントにつながりやすく、地域への親しみや関心を高める効果があると考えられ、「地域ファンづくり」の役割も果たしていると考えられます。

05 運用成果まとめ

◇フォロワーとの共感・交流の形成

投稿には、実際に訪れた体験の共有や地域への愛着を示すコメント、生産者への応援など、多くのポジティブな反応が寄せられています。

単なる情報発信にとどまらず、フォロワーとのコミュニケーションが生まれており、地域とのつながりを感じられるSNS運用が行われています。

自治体SNSではコメントが少ないケースも多い中、フォロワーとの交流が生まれている点は特徴的であり、地域への共感や関心を高める発信が行われていると考えられます。

◇地域への関心や来訪意欲につながる反応が見られる

飲食店やイベント、施設紹介などの投稿には、「行ってみたい」「楽しそう」といったコメントが寄せられており、地域への関心や来訪意欲につながる反応が確認できます。

◇町の人や産業への応援の声が見られる

生産者や地域の人を紹介する投稿には、「応援しています」「頑張ってください」といったコメントが寄せられており、町の産業や人への共感、応援の声が見られます。その反応は、掲載された人のモチベーションアップにも繋がると考えられます。

◇町の魅力や地域の雰囲気伝わっている

「矢祭の魅力は観光だけでなく、人々のつながりにもある」といったコメントも見られ、投稿を通じて町の雰囲気や魅力が伝わっていることがうかがえます。SNSを通じた地域イメージの向上にも寄与していると考えられます。

05 運用成果まとめ

◇数値結果

合計いいね数: **18,429**

合計シェア数: **382**

合計コメント数: **2,561**

合計リーチ数: **210,071**

合計リール動画視聴者数: **約175,500**

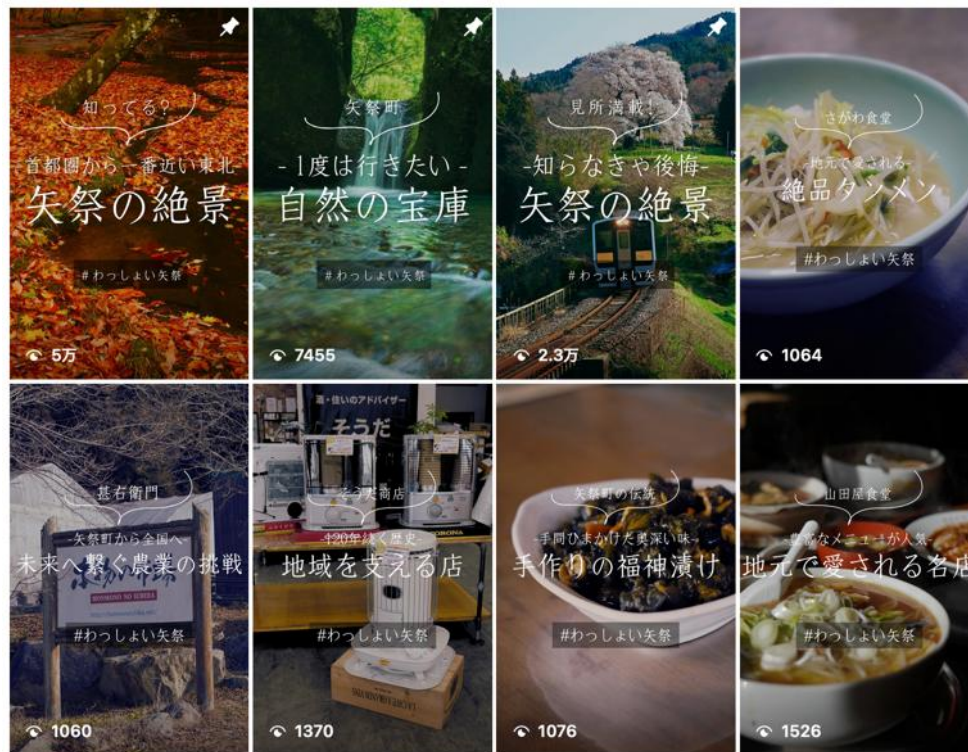
合計ビュー数: **429,587**

※リール動画は1万視聴を超えると百桁以下省略表示

※アーカイブなどで計測できない一部の投稿含まず

日本全国では
知る人が少ないと言える町で、
この数字は特筆すべき！！

リール動画



2024年度は投稿ネタも多く1.1日に1投稿しており59万ビューでしたが、今年度は投稿ネタが少ない中、2.7日に1本の投稿であることを考えると43万ビューは、投稿数に比べしっかりとユーザーに投稿が届き反応いただいていると言えます。

3. 官民連携事業：福島県矢祭町 もったいないマルシェ

☆タイトル

もったいないマルシェ（福島県矢祭町）

☆開催内容：矢祭町のPR / 矢祭農産品 PR と販売 等

☆開催場所

東京シティアイ パフォーマンスゾーン

*KITTE丸の内 地下1階

*東京都千代田区丸の内2-7-2

東京駅丸の内南口より徒歩約1分

☆開催日時：

- ・9月17日(水)：11時～19時
- ・9月18日(木)：11時～19時
- ・9月19日(金)：11時～19時

・12月16日(火)：11時～19時

・12月17日(水)：11時～19時

☆主催：矢祭町

☆物販運営：矢祭町特産品開発協議会

☆運営事務局：一般社団法人CSV開発機構



3. 官民連携事業：福島県矢祭町 もったいないマルシェ 9月会場風景



レシートに矢祭町PRを記載。やまっぴーを印字することで、矢祭町の印象を上げることに貢献した。

3. 官民連携事業：福島県矢祭町 もったいないマルシェ 12月会場風景



3. 官民連携事業：福島県矢祭町 ブランド会議骨子

【実施内容】

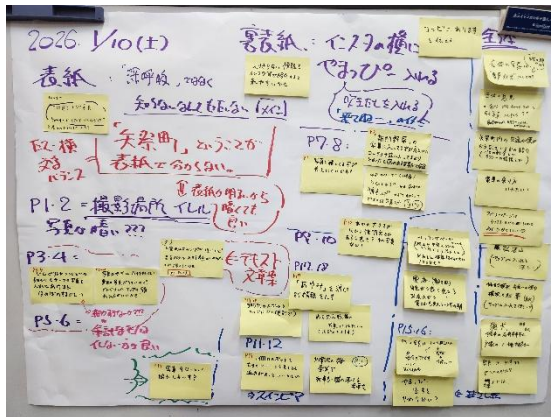
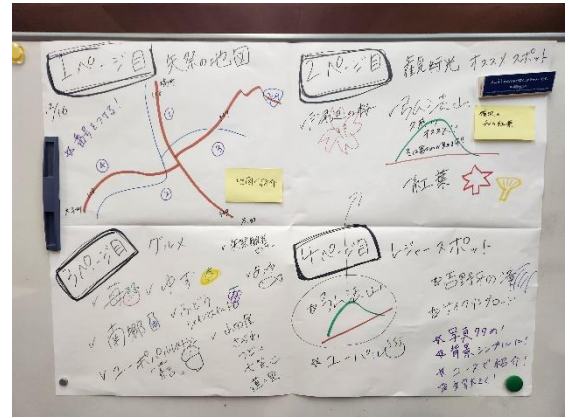
令和7年度の矢祭ブランド会議では、矢祭ファンづくりのための町の新しいパンフレットを制作する。

- ①会議ごとに、町内外から様々な世代の3人の登壇者を設け、自分の自己紹介、町の魅力などを10分程度述べてもらう。（初回はなし）
- ②参加者は登壇者の話からパンフレットに載せたいテーマやコト、場所をテーマに話し合う。
- ③参加者がスムーズに議論を進め、より良い結論を導き出せるようサポートする役割であるファシリテーターを設ける。
- ④分科会は全6回。（変更あり）
- ⑤パンフレット内で使用する写真のフォトコンテストを実施する。

【スケジュール】

説明会	9月30日(火)	事務局内での説明会。
分科会 1	10月7日(火)	パンフレットづくりの大きな概要、構成を説明する。参加者に意見を出し合ってもらい、成果品の目標を決める。ページ数は見開き10ページを想定。町内マップ、特産品、生産者紹介、春夏秋冬行事紹介、食、遊び場紹介、温泉、移住定住支援、子育て支援等。町内マップページの考察。
分科会 2	10月28日(火)	町内マップ、特産品、生産者さん紹介、春夏秋冬ページ
分科会 3	11月18日(火)	食、お店紹介、春夏秋冬ページ
分科会 4	12月16日(火)	温泉、子育て支援、遊び場紹介、春夏秋冬ページ
分科会 5	1月10日(土)	フォトコンの写真も使いながら全体の校正を行う。 表紙、裏表紙含む
本会議 1	1月20日(火)	実績を発表。
分科会 6	1月20日(火)	パンフレット（案）の再校正。発注。
発表会	2月26日(木)	矢祭町内で成果品報告。
発表会	3月6日(金)	有楽町交通会館でパンフレットならびに特産品配布。

3. 官民連携事業：福島県矢祭町 ブランド会議風景



☆タイトル：福島県矢祭町 パンフレット+特産品配布

☆開催内容：矢祭町の魅力発信 / 矢祭町の安全安心の発信 等
配布物

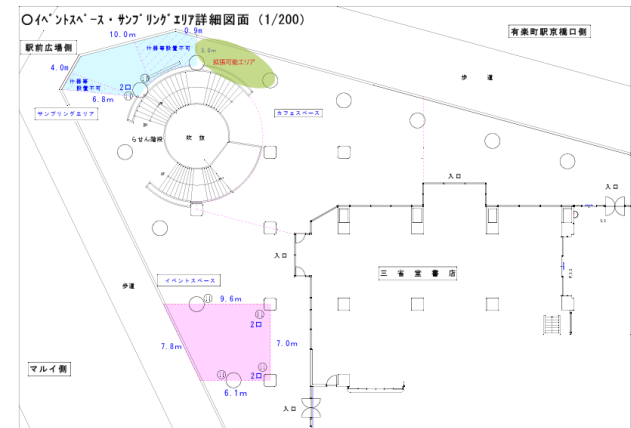
- ①魅力発信パンフレット：矢祭ブランド会議で町民合意で制作
- ②矢祭町特産品：生鮮野菜・いちご・お米・加工品・生花 等
* 先着500名様

☆開催場所：東京交通会館
東京都千代田区有楽町2-10-1
JR・東京メトロ：有楽町駅 徒歩1分

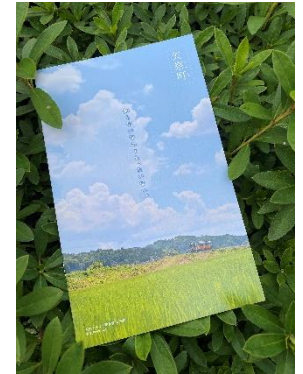
☆開催日時：
3月6日(木)：11時～16時

☆開催場所概要

- ・JR有楽町駅の平均乗降客数：125,532人/日 (2023年度値)
- ・東京交通会館ビルの入館客数：約30,000人/日 (平均)
- ・サンプリング数量目安：1,000個/時 (平均)
平日晴天時 ※無料サンプリングの場合
悪天候の場合は、この半分程度が目安
- ・男女比：平日6：4 年齢層：40代～60代中心
- ・通行者のタイプ：平日=有楽町・銀座周辺のワーカー+観光客



町民による新たな魅力発信：新魅力発信パンフレット配布会=会場風景



ACCESS

〈車をご利用の場合〉

常磐自動車道那珂ICより 矢祭町
車で約60分

東北自動車道白河ICより 矢祭町
車で約60分

〈新幹線をご利用の場合〉

JR東京駅 JR新白河駅 矢祭町
東北新幹線で約90分 車で約60分

JR仙台駅 JR新白河駅 矢祭町
東北新幹線で約60分 車で約60分

〈鉄道をご利用の場合〉

JR上野駅 JR水戸駅 JR東館駅
常磐線で約80分 水郡線で約100分

JR郡山駅 JR東館駅
水郡線で約100分



このパンフレットは町民の皆さんと作りました。

矢祭町に暮らす人にしか見えない隠れた魅力(コト、ひと、モノ、食、風景)を語り合える「矢祭ブランド会議」での対話を通して、魅力や誇りを発見しながら、それを1冊にまとめたものです。



矢祭町公式ホームページ

<https://www.town.yamatsuri.fukushima.jp/>



Instagramで矢祭町の魅力発信

@yamatsuri_fukushima

https://www.instagram.com/yamatsuri_fukushima/



お問い合わせ 矢祭町 事業課 地域振興グループ 電話 0247-46-4575

電子メール / chiikisinkou@town.yamatsuri.fukushima.jp

発行・企画 矢祭町

発行日 2026年2月

編集・制作 矢祭町・ブランド会議に参加した町民のみなさん



やまっぴー
矢祭町

知らないなんてもったいない。

矢祭フォトコン「町長賞」水郡線
@ta_kamo_ku